

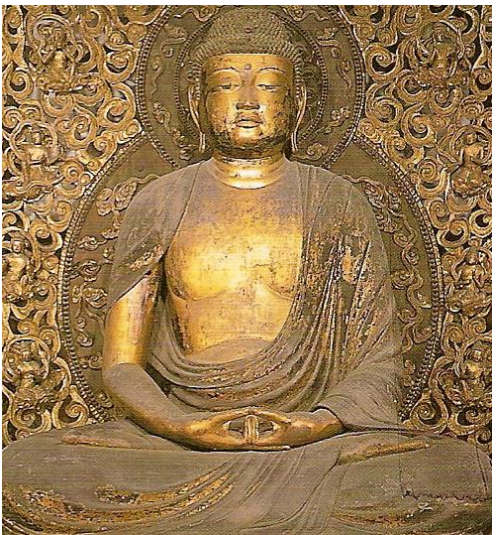
長善寺 秋の永代経法要のご案内

今年雨が多く、各地で被害を出しています。暑くないのはありがたいのですが、作物が心配です。そういえば雨ばかりで、セミの声も聞いていないような気がします。皆様如何お過ごしでしょうか。

さて、今年も彼岸会を迎えます。これは彼岸の日に太陽が真西を向くことから、西方浄土を求めるとして始まったものです。真宗では永代経といつて、往かれた方たちを偲び、自らの生き方を振り返る法要として大切にしております。今年も一日の法要として準備を致しました。ご一緒にお勤めができれば幸いです。

さて、この仏様は宇治の平等院鳳凰堂の阿弥陀様です。先日、改修された平等院を訪ねました。人が多くて内部には入れませんでした。新しくできた展示館で雲中供養菩薩などを間近に見ることができました。

壁に描かれた九品往生の復元図も見ることができました。観無量寿経に書かれている往生です。今回は観無量寿経の物語韋提希夫人のを取り上げます。



「智願海と煩惱海」…河の水は海に入って一味となり、海は大雨も余すところなく受け、海は屍骸を宿さない。海は広大無辺であり、無量の珍宝を蔵す。華嚴経

※ 拙寺永代経を左記の如く行います。

一、日時 九月 十三日 (土)

日中 十時 ※粗食ながら昼食を準備しています。
速夜 一時

一、お勤め 自坊にて、

午前：正信偈念仏・和讃・回向・法話 (与之助さんとどうさん)
午後：観無量寿経・和讃・回向・法話 (韋提希夫人のさとり)